

## 《カンボジア》

## 1. 8/6 不可思議な気絶事件はつづく

Kampong Speu 州にある Sabrina (Cambodia) 縫製工場で働く 29 人の労働者が、金曜日、作業中に気絶した。そのうち多くが州の病院に送られた。政府関係者は、この問題の背後に精神的な要因があったと主張した。州労務局の Cheak Borin さんによると、作業中に突然、一人の女性が立ち上がり吃音で何か話し始め、周囲の人たちを攻撃的な様子で指差し始めたという。それをきっかけに回りの労働者たちが倒れ始めたという。工場には各棟に 600~700 人ほどの労働者がおり、合計で 6,000 人ほどが働いている。「みんな非常に怖がり、次々と倒れ始めました。最初に立ち上がった女性はこれまで何度か倒れたことがあります、今回はとても攻撃的な様子でした」と Borin さんは話した。「セキュリティカメラのビデオを見てみましたが、彼女の体に何か霊的なものが乗り移ったように思えました。工場の労働条件や技術的な問題とは関係がありません」。病院に行った労働者たちも、翌日には仕事に戻ったという。州の保健局のディレクター、Ovann さんは、労働者は貧しく日々の栄養失調に苦しんでいると語った。「彼女らは慢性的に糖分が不足しております。それでも彼らは非常に懸命に働くので、カルシウムも足りていないと思います」と述べた。

## 2. 8/10 選挙期間中の給与控除に、工場労働者がデモ

Kong Deang Reay 地区にある Sheng Yao Enterprise 工場で働く約 1400 人の労働者は、国政選挙のため会社を 2 日間休んだが、その 2 日間の賃金が控除されていたとして雇用者に対するデモ活動を行った。労働者は、スバイリエン州にある照明製造の工場に勤めている。火曜日に給与明細票を受け取り、その際に 2 日分の給与が控除されていることに気づき、デモを始めた。労働者は給与明細票を事前に与えられ、毎月 10 日に給与を受け取るようになっている。州労務局の Bunthy さんは「控除は行われていません。労働省は、工場が法律に従うように指示しています」と述べた。ストライキに参加する労働者は、「フルタイムの労働者は通常通りの賃金を受け取るが、契約ベースで雇用されている労働者の方は賃金が控除されていた」という。労働組合の代表である Vin Heng さん (25 歳) は、7 月 29 日の休暇のために工場が賃金を引き下げたことを懸念したため、デモを行っていると話した。「私は正規の労働者なので賃金は引かれませんが、短期契約ベースの人たちは、2 日間の賃金が控除されていました。私は団結するため、デモに加わることにしました」と語った。別の 22 歳の労働者は、契約労働者として 3 ヶ月間工場働いているが、賃金控除の可能性があると話す。「どのくらいの額が引かれるのか正確にはわかりませんが、明細表を見る限り確かに引かれているようです。だから抗議しないといけません。正確な賃金の額がわかるのは、給料日に 8 月 10 日になります」と彼女は話した。

また、賃金削減以外にも、労務局が解決しようとしている別の労働問題もある、と Bunthy さんは話した。「労働者は、出産前検査に行く時の費用を工場が支払うことを要求しています。また、契約も 3 ヶ月おきではなく 6 ヶ月おきを望んでいます。工場はこの 2 点について拒否をしているため、私たちは引き続き話し合いを続けていくつもりです。労働者はデモの期間中の賃金を求めているようです。工場がこれに同意するかどうか分かりませんが、間にはいって現在仲裁を試みています」と Bunthy さんは語った。また労働者は、特別な理由がある場合には、休暇申請の規則を緩和するよう工場に求めている、と付け加えた。

## 3. 8/10 賃金紛争で工場デモ、すでに解決

水曜日、カンダール州の Sa'ang 地区にある TY 工場で働く約 170 人の労働者が、オーナーが賃金を支払わなかったとし、外の道を塞ぐなどしてデモ活動を行った。地区警察の副署長 Oeun Peng An 氏によると、「労働者たちは TY 工場が潰れる。オーナーはマシン類を売り払うつもりだ、給与が支払われないかもしれない」などの噂を耳にして行動を起こしたという。「労働者は、賃金が支払われない状態で工場が閉鎖され、工場の財産が持ち出されてしまうと考えていたみたいです」と彼は話した。Peng An 氏は、「衣服やマシン類が、Prek Hou コミューンにある別の工場に売却のため輸送されていくのを誰かが目撃したことが噂の発端だった」とする。その別の工場は、TY 工場が賃金問題を解決するまで、マシン類の購入は拒否している。「TY 工場のオーナーは、マシンの売却について別の主要工場のオーナーと連絡を取り合っていたようです」と Peng An 氏は話した。

TY 工場では現在 173 人の労働者が雇われており「工場はお互いの近い場所に 3 つがあります。Toul Sala 村での賃貸借契約はすでに失効していますので操業は続けられません。工場で引き続き仕事をしたい労働者たちは、別の工場で働くことができます」という。Peng An 氏によると、「デモの後、自治体が水曜日と木曜日にかけて問題に介入し、結果として工場オーナーは 173 人の労働者に賃金を支払うことに同意した」という。「私たちはお互いに妥協しました。問題はもう解決済みです」と述べた。

木曜日の午前の時点で、水曜日の夜に取りに来なかった 50 人以上の労働者が給料を受け取っていなかったが、木曜日の午後には全員に支払われる予定だ、と彼は話した。水曜日のデモに参加していた労働者の Chenda さんは、「水曜日の朝に給与を受け取りました。現在は別の工場で働いています」と話した。

#### 4. 8/13 来年の最低賃金、交渉に先がけ WDU は会合

Workers' Democratic Union (WDU) は、衣料・靴産業で働く労働者の最低賃金として来年 \$ 200 ~ \$ 250 を提案することを計画。政府と交渉するため他の組合からの支援を求めている。現在、工場労働者の最低賃金は月 165 ドル、それに加えて毎月 5 ドルが政府から支給されている。2016 年の輸出収入は約 73 億ドルで、同国の主要な収入源であるこの縫製セクターは約 70 万人の労働者を雇用している。WDU の Ath Thorn 代表は、組合は最低賃金を審議するために、8 月 20 日に公式の会合を予定していると述べた。「選挙が終わったが、政府には引き続き労働者の支援をしてほしいと考えています。最低賃金として毎月 200 ドルから 250 ドルの間が妥当だと考えています」と語った。今年の縫製労働者の賃金は 11% 上昇している。

労働職業訓練省は先週の木曜日、衣料・靴産業で働く労働者の 2019 年最低賃金に関する議論が、今月さまざまなレベルで始まるだろうと発表した。政府、労働組合、雇用主の 3 者会合は、9 月に行われる予定だ。同省は、国民・労働者・雇用主・職業訓練機関などすべての利害関係者が、交渉が始まる前に意見を出すよう呼びかけ、「各組織は、社会的および経済的要因に基づいて問題を検討する必要があります。労働者の家庭の状態、貧困率および生活費なども考慮する必要があります。また、生産性やインフレ率、国の競争力、市場全体、市場の収益性など、経済的見通しも考えていなくてははいけません」と述べた。

#### 5. 8/15 携帯ひったくれ車で突撃、中国人女性は裁判へ

警察は、中国人女性が、バイクに乗る 2 人組に車をぶつけたとして逮捕し木曜日に裁判所へ送った。中国人女性は、その 2 人組が女性の携帯を奪ったとして主張している。首都の Tuol Tompoung で起こったその事件で、2 人組のうち 1 人が現場で死亡し、もう 1 人は重傷を負った。「運転席のその女性と一緒に、もう一人女性が車には乗っていません。しかしバイクの男性が死亡した後、運転手の方は裁判所に送られて、もう一人は車をコントロールする能力がなかったとしてすぐ家に帰されました」と警官は話した。彼は、裁判においては、男性を死なせたのが故意であったかどうかを争点になるのでは、と話す。「私たち警察は彼女の処分を決定する力はありません。ただ女性らは、自分たちの携帯を取り戻すためにひったくりを追跡していただけたと私に話しました」と警察は発表。日刊紙によると、中国人女性についての通訳によると、事件の当時、女性はレストランで食事して Sen Sok 地区にある自宅に帰る途中だったが、ストリート 123 と 456 のコーナーあたりで、女性は車の窓を開けて携帯で話をしはじめた。すると突然バイクに乗った二人の男性が現れ彼女の携帯をつかんで走り去った。女性は携帯が 2,000 ドル相当のものであり、ただ取り返したかっただけだと話している。

#### 6. 8/17 プンペンの縫製労働者、賃金をめぐってデモ

Cheng Yuan (Cambodia) 縫製工場で働く約 40 人以上の労働者は賃金問題でデモを行っていたが、オーナーが、正当な賃金を支払うことと労働条件の改善に同意したあとと和解した。Por Sen Chey 地区の Chom Chao 3 コミュニティの政治家 Khim Sunsoda 氏によれば、デモのきっかけは、オーナーが労働者に約束した通りの賃金支払いを拒否し、職場では労働者に圧力をかけていたからだという。労働者は、労働法と人権の尊重を訴えていた。Sunsoda 氏は、オーナーが 8 月 21 日に賃金を支払うことを約束し、それをもって労働者もデモをやめたと話す。「労働者の話では、工場の何人かが仕事をやめたいと考え、オーナーは 8 月 10 日に辞める労働者への賃金を支払うと約束していたみたいです。しかし実際その日が過ぎてもオーナーが支払わなかったため、今回のデモに至りました」。

ひとりの女性労働者は「労働者が緊急事態のために休んだとき、あるいは病気で休んで診断書を提出しなかったとき、賃金が控除されることはこれまでありませんでした。でも今月から、休暇を事前に許可されていた場合でも、オーナーは賃金を控除するようになりました。さらに、1 日仕事を休んだだけの人の賃金を 1 週間分控除したり、病気で 3 日休んだ人の給与を 21 日間分控除したりしたのです。21 日間分だと、ほぼ 1 ヶ月の収入と変わりません。だから私たちはデモをして、オーナーに権利を尊重してほしいと訴えたのです」と話した。

労働者運動集団連盟 (Collective Union of Movement of Workers = CUMW) の代表 Pave Sina さんは、労働者が休暇を要求したときにオーナーは給与と毎月のインセンティブを控除しており、これは不法行為だったと主張した。「まれなケースです。しかし小規模な工場では、オーナーが労働規則を遵守していないことがあります。給与は労働者の生活に直接的な影響を及ぼすため、このようなケースに自治体はもっと注意を払うべきだと思います」と彼は語った。

## 7. 8/21 外国人の犯罪、中国人がトップ

警察は、カンボジアで犯罪を犯した外国籍のトップ25を発表した。今年の最初の半年間で合計88件の刑事事件があり、そのうち17件が薬物関連であった。警察は25の国籍の378人を逮捕し、そのうち257人以上が中国人であった。それに続いてナイジェリア人37人、ベトナム人14人、タイ人12人、韓国人8人。犯罪のほとんどは首都で発生したものだ。月曜日、プレア・シアヌーク州の裁判所は、合計21名の中国人とカンボジア人を売春の罪で逮捕し、そのうち中国人の3名を逮捕し裁判前勾留に送ったと発表した。

8名は摘発されたマッサージ店のオーナーJung Ming Chin 容疑者33歳、以下7名(Yang Chekhov 容疑者23歳、Shi Sin 容疑者20歳、Yuli Qing 容疑者46歳、Wang Weihoo 容疑者15歳、Yin Song Ping 容疑者32歳、Zhou Dong Yong 容疑者28歳、Wang Tao 歳23歳)と報道された。調査裁判官が売春で起訴した後、彼らは刑務所で拘束されている状態だと裁判所のスポークスマンであるBun Heng氏は話した。8名は有罪判決を受けた場合、懲役2年以上の刑に処される可能性があるという。残りのカンボジア人5名を含む13名は、裁判所が搾取された犠牲者の立場であると判断、すぐに解放された。国家警察の広報担当 Kirt Chanthearith さんは、この数字は、カンボジアの25の州と首都プノンペンで調査して出されたものだと話す。

社会分析の専門家たちは、「当局が法律を厳格に執行し、より大きな責任を負うならば、中国人の犯罪に対する危険が高まることは懸念しなくて良いだろう」、と述べた。Affiliated Network for Social Accountability の執行取締役 San Chey さんは、「関係当局の法執行能力はまだ弱いと思います。外国人、特に中国人は、カンボジア王国軍(RCAF)や警察のナンバープレートを偽造して車につけて運転するなどの違反行為を犯すことがあります。また、中国人は交通規制を無視する傾向があります」と話した。Chey さんは、麻薬密売、売春、誘拐、強盗などの犯罪を犯した外国人に対して、厳重に捜査や逮捕をするよう当局に求めた。

社会分析の専門家の Hang Vitou さんは、さらに大きな懸念を示した。彼は、中国人コミュニティの一部は、暴行や交通事故などの犯罪行為を起こしており、カンボジアを無法国家のような状態にしていると主張する。彼は、外国人の処罰が国家間にもたらす影響にかかわらず、当局は刑事責任を必ず追求しなくてはならないと述べた。「関連機関が法律を厳格に施行し、相互関係と犯罪をはっきりと区別すれば、中国人がカンボジアで違法行為をすることは少なくなると思います」と述べた。

## 8. 8/23 ドラッグ使用のドライバー、昨年より50%増える

国家道路安全協議会(NRSC)は、「麻薬の検査を受け陽性結果が出たトラックドライバーの数が、前年同期に比べて上半期は50%増加した」と発表した。NRSC 副議長の Him Yan 氏は、物資や人を輸送する民間業者の代表100名に対する会見の中でこの発表を行った。「約700人のドライバーとアシスタントを調べ、そのうち94人、14%が陽性でした。彼らは重い物資を輸送している途中でした。昨年上半期に陽性結果の出たドライバーの数はこの半分程度だったと語った。「昨年検査したドライバーとそのアシスタントの総数は覚えていませんが、陽性と認定されたのは47人でした。会社のオーナーに、ドライバーの業務とドラッグの有無を日頃監視するように依頼しました。警察にドライバーの業務記録を提供してもらう必要があります」と話した。Yan 氏は、運転中に薬物をしているとわかったドライバーは、法の処罰を受けると話した。「これはドラッグ運転を防ぐための予防策です。速度の出しすぎは常に事故要因のトップで36%。6%は酔っ払い運転が原因です」。

道路安全協会(Institute for Road Safety)の Ear Chariya 氏は、ドライバーのドラッグ吸引に関してコントロールが難しいため、今後も危険性があるだろうと話す。Chariya 氏は、カンボジアのドライバーたちは、運転途中に眠らないようにするため薬物に手を染めている、と語った。「当局はドライバーの会社に電話して対策を練るが、会社も国道に職員を置いて定期的にチェックするなどの対策を図るべきだと思います。人々はその問題があることを認識していますが、対策を十分にとるのが難しいために法律無視が続いている状態です」と述べた。ソリヤ・トランスポートの責任者 Tann Kimhourt さんは、100人規模のドライバー・アシスタントドライバーを雇用している同社は、新しい人を募集する際に薬物検査を必ず行っていると語った。「私たちは尿検査をします。彼らが薬物を使用していると分かれば、雇いません。また、雇った後も、乗客の安全を考え、3〜6ヶ月ごとに薬物検査を実施しています」、と話した。

## 9. 8/29 カンダル州でタバコの違法製造業者が摘発

カンダル州で偽のタバコを生産していた工場が摘発され、35トンの偽造品が押収された。今回の摘発は、ESSEブランド認定の生産者が、当局に告訴したことから始まった。反経済犯罪警察局(Anti-Economic Crime Police Department)の Long Sreng 氏は、その正式な生産者の苦情を受けて、カンダル地方の当局者に工場に立ち入り調査をするよう命じ、そこで偽造が発覚した。製造は、カンダル州の Takhmao 市、Samnanh 村にある工場で行われていた。

以上